

こんにちは
いつもお世話になっております

三栄です

第12号

発行元

株式会社三栄サービス

東村山市久米川町 1-16-5



◇先の東日本太平洋沖大震災で被災された皆様へ、衷心よりお見舞い申し上げます

この北多摩、南埼玉エリアにおいても、震度4と言いながら、未だかつて経験したことのない激しい揺れに驚き、しばらく「地震酔い」に悩まされた方も少なくないのではないのでしょうか？また、屋根瓦が落ちたり、塀にひびが入ったりしたところもあつたようですが、皆様方におかれましては、ご無事でしたでしょうか？

そして、重ねて発生した原発事故と計画停電。古紙1トン当たり換算すると、弊社では毎時7.6キロワットの電力を消費しています。その大部分を古紙加工に使用するペーラー（古紙プレス機）が占めています。現在でもエコアク



ペーラー（古紙処理機）

ション21の環境マネジメントシステムに基づき、温室効果ガスの削減という観点から電力消費の抑制に努めておりますが、なお一層の節電に取り組んでいかななくてはならないと考えております。

ただ、一方で、後述するように様々な震災後の影響も出ている中、資源リサイクルの輪を止めないよう、社員一丸となって営業してまいります。これからは夏の電力需要が増加傾向となる中で、万が一の停電にも備えて、小型発電機を準備しています。台貫（トラックスケール）と事務用パソコンは稼働しておりますので、停電時にも荷受可能です。

◇震災後の影響は・・・？

震災後の再生資源業界への影響ですが、東北地方のメーカーが被災により荷受停止したり、放射線問題で一部古紙や金属の輸出が停止し、一部余剰化の恐れがありました。金

属類は特に放射能の残留による影響が大きいそうで、再生資源も日本製品も放射線量のチェックが厳しく、再生資源の輸出は元より、自動車をはじめとする輸出産業向けの資源の流通にも影響が出ています。

一方で、夏の停電の心配もあり今のうちに稼働させたいというメーカーの動きや復興関連資材のニーズにより、再生資源の流通はおおむね順調に推移するものと思われませんが、原発の影響には目が離せない状況です。

また、自粛ムードや経済自体の停滞により、新聞紙面広告やチラシ、段ボールなど包装資材の減少などにより、古紙の発生は弱い状況です。弊社では、三月中燃料の確保で右往左往させられましたが、古紙は、茨城・静岡のメーカーに納めており、特に流通に支障は出ませんでした。金属類も相場の上下はありませんが、現状は通常通り流通しております。夏の節電による影響と、今後の発生減が気になるころではあります。

◇組合を通じて義捐金の送金もさせて頂きました。

弊社でも、社員やお客様のご協力のもと義捐金募金箱を設置し、三月末に東多摩再資源化事業協同組合

から日本再生資源事業協同組合連合会を経由し、義捐金壹拾萬円を送金させて頂きました。

一日も早く、被災地の皆様が、元通りの生活に戻れますことを心よりご祈念申し上げます。

「三栄です」のバックナンバーがホームページからご覧頂けます。是非ご覧下さい。



『三栄サービス』で検索！

役員改選のお知らせ

去る三月二五日の臨時取締役会議におきまして役員の一部改選が行われ、取締役部長の紺野琢生が常務取締役に昇任致しました。

ご挨拶

五月八日で丁度入社一〇年になりますが、四一年目の会社の歴史の中ではまだまだ若輩者でございます。精進して頑張っておりますので、今後とも変わらぬご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

常務取締役 紺野 琢生

集団回収の締め月です！

六月 東久留米市 清瀬市